

令和6年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：民生局健康部市立病院課

1 施設概要

施設名称	横須賀市立うわまち病院
指定管理者名	公益社団法人地域医療振興協会
指定期間	令和4年4月1日～令和14年3月31日（10年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	4月18日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 4月の1日平均患者数は、入院患者285.2人、外来患者474.9人であった。 医療機械の維持管理について、各種実施報告書を確認し、マルチスライスX線CT装置、医療用X線CT装置、Cアームイメージングシステムの保守・点検が適切な時期に実施されていることを確認した。 各種点検報告書を確認し、消防設備、医療ガス供給設備、自動ドア等の設備の点検が適切に実施されていることや、受水槽・高置水槽清掃飲料水水質検査、手術室環境管理といった施設の維持管理が適切に実施されていることを確認した。 衛生管理実施状況について、各種点検報告書を確認し、冷蔵庫、給茶機、製氷機、スチームコンベクションオーブンの衛生管理が、適切に実施されていることを確認した。 既に完了している修繕物件から無作為に抽出した「電動ベッド部品交換修繕」について現地確認し、適切に施工完了していることと、施工後の運用でも問題が発生していないことを確認した。
5月	5月15日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 5月の1日平均患者数は、入院患者285.1人、外来患者484.8人であった。 宿日直日誌、保安管理室日報、労働安全衛生委員会議事録及び駐車場管理日誌を確認し、日ごとに具体的に記載されていることや適切に決裁、保管されていることを確認した。 事故報告書、ヒヤリハット報告書、医療安全管理委員会議事録を確認した。患者の転倒事案や、事故に至らなかったもののその可能性があったケースについて振り返りや今後に向けた反省など具体的に記載されていることを確認した。

	患者の待ち時間短縮にかかる取り組みについて、会計はクレジット払いに対応している自動支払機への案内のほか、当日会計の必要はなく後日クレジットに請求される方法（後クレ）も導入し、待ち時間の短縮に努めている。また、診断書の申請から交付まで1週間前後で交付していることを確認した。 病院利用者からの意見は、来訪、電話、意見箱などにより受け付けている。患者支援室がとりまとめ、重要案件は管理者まで供覧している。 患者等の個人情報、指定管理者の内規である個人情報保護規定に則り適切に管理していることを確認した。 クリニックとの連携について、クリニックを個別訪問したり病院の情報をクリニックに伝えるための広報誌を発行、配布したりしていることを確認した。
6月	6月19日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 6月の1日平均患者数は、入院患者 297.1 人、外来患者 478.1 人であった。 施設・設備の点検状況について、各種点検報告書を確認し、空調設備機器、駐車場発券機・精算機の点検が適切に実施されていることを確認した。 清掃の実施状況について、各種実施報告書を確認し、院内の清掃管理が適切に実施されていることを確認した。 廃棄物の処理について、各種マニフェストを確認し、産業廃棄物、感染症に関する廃棄物、廃油の運搬及び処分が適切に運用及び管理されていることを確認した。 既に完了している修繕物件から無作為に抽出した「画像ファイリング用端末交換修繕」について現地確認し、適切に施工完了していることと、施工後の運用でも問題が発生していないことを確認した。
7月	7月17日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 7月の1日平均患者数は、入院患者 292.9 人、外来患者 499.5 人であった。 管理執行体制について、組織図、経営会議等議事録、職員向け研修実施記録、医療事故発生時の対応マニュアル等を確認し、適宜情報が更新されていることや、議事録を管理者まで決裁処理していること、研修にはeラーニングを導入していること、医療事故発生時は休日夜間においても迅速に対応できる体制を取っていることを確認した。 業務日報等作成・整理・保管状況について、調定表及び収入日計表の書類確認を行い、適切に保管されていることを確認した。 医療機械の維持管理について、各種実施報告書を確認し、高精度放射線治療装置等の保守・点検が適切な時期に実施されていることを確認した。

	各種点検報告書を確認し、電話交換機、エレベーター、防犯カメラ等の点検が適切に実施されていることを確認した。 既に完了している修繕物件から無作為に抽出した「南館手術室1・5空調室外機修繕」について現地確認し、適切に施工完了していることと、施工後の運用でも問題が発生していないことを確認した。
8月	8月21日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 8月の1日平均患者数は、入院患者301.5人、外来患者464.3人であった。 各種点検報告書を確認し、R I施設保守管理委託、自家用電気工作物保安管理業務委託、医療排水水質検査委託、ガスヒートポンプ保守委託、害獣防除業務委託、カーテンメンテナンス委託、洗濯委託、患者給食業務委託、トイレ消臭器設置等委託の点検等の保守が適切に実施されていることを確認した。
9月	9月18日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 9月の1日平均患者数は、入院患者291.0人、外来患者489.2人であった。 医療機械の維持管理について、各種実施報告書を確認し、循環器系X線診断装置、磁気共鳴診断装置、デジタルX線TV装置、内視鏡、診療情報システム、医療用画像保管配信システムの保守・点検が適切な時期に実施されていることを確認した。また、医療システムについて、確認を実施した時点では、診療に影響を及ぼすような大きなトラブルはなかったことを確認した。 既に完了している修繕物件から無作為に抽出した「厨房排水管系統修繕」「市立うわまち病院法面修繕」について、現地での目視確認が難しいため工事写真にて状況を確認し、適切に施工完了していることと、施工後の運用でも問題が発生していないことを確認した。
10月	10月16日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 10月の1日平均患者数は、入院患者288.7人、外来患者495.8人であった。 療養環境の適切な維持ができているか聞き取り確認及び、室温湿度調査表の確認も併せて行った。確認の結果、日々取得している室温・湿度のデータを定期的に職員が確認し、療養環境の適切な維持に努めていることを確認した。また、HCU、ICUについては温度及び湿度を一定に保つよう努めていることを確認した。 既に完了している修繕物件から無作為に抽出した「南館冷温水発生機修繕」「外来棟屋上出入口付近防水他修繕」について、現地確認及び、目視確認が難しい箇所については、工事写真にて状況を確認し、適切に施工完了していることと、施工後の運用でも問題が発生していないことを確認した。

11 月	11 月 21 日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 11 月の 1 日平均患者数は、入院患者 302.0 人、外来患者 492.6 人であった。 既に完了している修繕物件から無作為に抽出した「外来棟第 1 CT 操作室及び特別診察室(2)空調機修繕」、「高気圧蒸気滅菌装置 2 台交換部品修繕」について、現地確認を行い、適切に施工完了していることと、施工後の運用でも問題が発生していないことを確認した。
12 月	12 月 18 日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 12 月の 1 日平均患者数は、入院患者 302.3 人、外来患者 512.7 人であった。 宿日直日誌、保安全管理室日報、労働安全衛生委員会議事録及び駐車場管理日誌を確認し、日ごとに具体的に記載されていることや適切に決裁、保管されていることを確認した。 事故報告書、ヒヤリハット報告書、医療安全管理委員会議事録を確認し、適切に管理されていることを確認した。発生した事故等については、定期的（月 1 回）及び緊急時は臨時で開催されている医療安全管理委員会で報告を行い、必要に応じて院内での周知を行う等、再発防止に努めていることを確認した。 既に完了している修繕物件から無作為に抽出した「冷却療法装置部品交換修繕」について、現地確認を行い、適切に施工完了していることと、施工後の運用でも問題が発生していないことを確認した。
1 月	1 月 22 日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 1 月の 1 日平均患者数は、入院患者 317.7 人、外来患者 518.5 人であった。 医療機械の維持管理について、各種実施報告書を確認し、医療用 X 線 CT 装置、高精度放射線治療装置、人工呼吸器、内視鏡の保守・点検が適切な時期に実施されていることを確認した。 清掃の実施状況について、各種実施報告書を確認し、院内の清掃管理が適切に実施されていることを確認した。 カーテンメンテナンス、冷蔵庫、給茶機、製氷機、スチームコンベクションオープン点検等実施状況について報告書を確認し、適切に実施されていることを確認した。
2 月	2 月 19 日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 2 月の 1 日平均患者数は、入院患者 255.4 人、外来患者 458.3 人であった。 入院、外来患者数の大幅な減少は、総合医療センターへの移転に伴う引っ越しに向けた、患者の制限によるものである。

	医療機械の維持管理について、各種実施報告書を確認し、循環器系 X 線診断装置、磁気共鳴診断装置、デジタル X 線 TV 装置の保守・点検が適切な時期に実施されていることを確認した。 既に完了している修繕物件から無作為に抽出した「南館一般電灯回路絶縁不良修繕」について、現地確認を行い、適切に施工完了していることと、施工後の運用でも問題が発生していないことを確認した。
3 月	3 月 19 日に現地確認を行い、指定管理者より運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。 3 月の 1 日平均患者数は、入院患者 243.4 人、外来患者 445.5 人であった。 医療機械の維持管理について、各種実施報告書を確認し、循環器系 X 線診断装置、核医学診断装置の保守・点検が適切な時期に実施されていることを確認した。 職員を対象とした教育・研修が実施されているか、研修・学会出席実績や図書室の利用状況を確認した。各職員が適宜必要な研修を e-ラーニングにて受講していることや、図書室が自己研鑽のために職員に利用されており必要に応じて書籍の入れ替えを行っていること、業者を招いての研修会の会場として利用していることを確認した。 診断書発行やカルテ開示申請の受付、申請者への発行完了の連絡までにどの程度の期間を要しているか確認した。申請から申請者への連絡まで概ね 1～2 週間以内に行っていることを確認した。 意見箱、電話、対面、メール、手紙等によりいただいたご意見は、基本的に患者支援室で対応しているが、関係部署や幹部とも調整しながら対応している。また、月 1 回開催されている患者支援室小委員会で報告されている。更に、患者支援室小委員会の議事録は管理者まで確認するようにしている。寄せられた意見のうち、回答が必要と判断した意見に対しては、病院としての回答を作成し、「患者支援室ニュース」という形で院内に掲示している。 地域における役割と連携について、近隣の医療機関への挨拶回りを行っており、総合医療センターへの移転前から久里浜エリアを中心に実施していた。移転後も継続して挨拶回りを行っており、地域の医療機関との連携強化に努めていることを確認した。